

平成26年度 第2回 卒業前技術トレーニング

平成26年12月下旬に看護学科4年生40名が第2回卒業前技術トレーニングを行いました。今回は、**附属病院の看護部のみなさん**にもご協力いただきました。実際の臨床現場で遭遇しうるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者さんの事例を用いて、求められる看護を考え、実践し、振り返る内容でした。臨床に即したアドバイスをもらうことができました。



「どんな看護が必要？」
「何からどんなふうにケアしたらいい？」みんなで考え中…。

現場の先輩からの
アドバイス！



患者さんの目を見てしっかり訴えを聞くことやメンバーで分担しながら看護を行うことも大切なんですね。



看護の
検討



実践



振り返り



模擬患者さん（現場の先輩）
からのフィードバック



「こんなところが難しかった…
どうすればよかったかな？」
「こんな声かけよかったよ！」
などメンバーで振り返りました

学生からは「改めて看護の根拠を考えて行うことが大切だとわかった」、「技術にばかり集中してしまい、患者さんの訴えや表情にも気を配れなかった」、「臨床の看護師さんから具体的なアドバイスがもらえて、よりリアルに現場をイメージできた」などの感想が聞かれました。いよいよ4月から看護職となる4年生！今回のトレーニングでの学びを是非今後活かしてほしいと思います。